

33才 無所属 戸田市議会議員

すがわら 文仁 ふみひと

本人



討議資料 21号 発行人 すがわら文仁 戸田市美女木 8-21-6

ごあいさつ

日頃よりすがわら文仁の活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。今回のレポートでは、一般質問、市政報告の他に私の4年間の議員生活の自己評価を掲載しました。振り返ると、がむしゃらでした。そして一生懸命走った4年間でした。残された任期を、これまで同様に取り組むことはもとより、これからも初心を忘れずに走り続けていく所存です。皆様の力強いご指導をよろしくお願いいたします。
菅原文仁



一般質問で熱く語っています。

出張ミーティング

要請があればどこでもお伺い致します。市政に関すること、相談など、ジャンルは問いません。市政に対する鋭いご提案などありましたら、是非お聴かせください。

NEWS & TOPICS

日曜開庁、10月から毎月はじまる。

平日勤務する方が多い戸田市。1月を除く毎月第一日曜日の9時から5時まで、開庁することになりました。

戸田市議会議員選挙が09年1月25日に決定。

平成21年2月5日に任期を迎える戸田市議会議員。定数26の議席を争う選挙です。告示日は1月18日です。

病児・病後児保育の対象年齢が拡大。

これまで6才までが対象の病児・病後児保育の対象年齢が拡大しました。費用は1人につき1日あたり2000円、利用時間は月～金曜日の8時から18時までです。また、今年度中に市内3ヵ所目となる施設が新設の予定です。実現すれば、すがわらの提案の12名受け入れ体制が整います。



QRコード



PROFILE

昭和50年7月30日生まれ 33歳
身長170cm 体重64kg A型 獅子座
美谷本小、美笹中、県立伊奈学園総合高校卒業
日本体育大学卒業 明治大学・公共政策大学院修了
若手政治家養成塾事務局長 埼玉坂本龍馬会幹事
大前研一氏主宰「一新塾」16期生
戸田市体操協会会長 日本地方自治学会会員
【資格】 中学・高校教員免許(保健・体育)
【趣味】 史跡巡り 読書 B級グルメ
【特技】 体操 スキー のび太並み早寝
【好きな言葉】 為せば成る(上杉鷹山)
【夢】 努力した人が報われる社会の実現。
【家族】 父(元教諭)・母(体操指導者)
妹(元五輪選手)・愛犬(ラブラドル・レトリバー)
【HP】 sugawarafumihito.com
【携帯】 090-8462-6482

すがわら文仁とは？

子どもの頃から体操競技、サッカー、アルペンスキーと様々なスポーツを経験。父と同じく教員を目指し大学に入学するも、教員採用試験で挫折。部活の先輩が25才で市議になるのを間近に見て、政治の世界に夢を抱いた。社会人では、地元でスポーツ指導者として働きながら、子どもの体力低下や中高年の介護予防やメタボリック症候群に問題意識を持つ。また学校設立のボランティア活動で、カンボジアやミャンマーを訪問。政治によって国民生活が大きく左右されることを痛感する。29才で(2005年1月)市議選に立候補する。ジバン(後援会)・カンバン(知名度)・カバン(お金)がなく無理と言われたが、夢と情熱と使命感だけで政治に挑戦。1993票を賜わり、当選。平均年齢53才の市議会以最年少。現在、公共経営の視点で政策提言を行ない市政改革に挑む日々。県内外の若手政治家の仲間と「若手政治家養成塾」を立ち上げ、その活動が様々なメディアに取り上げられている。

9月議会・すがわらの質問と答弁(要約)

市職員互助会 への公費支出について
・廃止を含めた検討を進めるべきではないか。

(すがわら)

昨今の厳しい財政状況の中、公務員の福利厚生に公費を支出する事に疑問視する声あげられている。戸田市は現在、さいたま市を除く県内69市町村中4番目に職員互助会への公費支出が多い団体となっている。多くの自治体(県内28市町村)が支出していない状況を考え、公費支出の全額廃止をしてはどうか。

(総務部長の答弁)

市全体で補助金の見直しが進められていることもあり、互助会事業全体についてもさらなる見直しが求められている。検討を行ない公費負担率やそのあり方、また給付内容についても見直しを進める。

(すがわら)

ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。個別給付事業の内容、実施件数、実績額、補助率、内部留保についても公表することを要望する。

市職員互助会とは、地方公務員法第42条に基づいて設置される、職員の会費と市からの助成金で成り立つ相互共済、福利厚生の実施体。(結婚・出産・卒業・銀婚・永年勤続の祝金や、公務傷病・傷病・災害の見舞金、香典料、優待旅行金、退職慰労金、保養所利用補助事業などがある)

平成19年度は、約1230万円の公費(会費の約50%)が投入されている。

ひと言 公務員の福利厚生に対する公費支出は、これまでも問題視されているため、多く自治体が廃止を決めている。透明性を高め、納税者の理解を得るためにも、やはり廃止が必要です。

市民協働のまちづくり政策について
・寄付による投票条例 の制定により、市民の政策選択の枠を拡大してはいかがか。

(すがわら)

市民の立場から考えると、自分の寄付が一般財源に組み入れられて何に使われているのかわからないというよりも、用途を選択できる方が魅力的である。

ふるさと納税がはじまり、寄付税制が拡大された。市民と政策を近づける新しい取り組みとして寄付による投票条例を策定する自治体が増えている。寄付者に対する説明責任や広報、寄付に対する職員の意識改革、そして昼間市民の政治参加の必要性から、本市も条例を策定してはどうか。

右へ続く

(総務部長の答弁)

市民の皆様が寄付や投票という形で、積極的にまちづくりに参加できることは大変有意義なことである。寄付については、これまでも積極的に対応しているが、これからは、先進的自治体の取組を注視して、有効性についても研究していきたい。

寄付による投票条例とは、自治体が条例で寄付を受け入れる基金を設置し、政策メニューを用意することで、市民が寄付を通じて政策を選択できる市民協働の政策ツール。複数の候補から政策を選んで投票することから、「寄付による投票」と名付けられている。

ひと言 寄付は大きな可能性を持った財源。納税への満足感、参加・協働の醸成、寄付に対する自治体の説明責任を果たす意味からも、寄付を積極的に扱う条例制定が必要です。

福祉サービス従事者の確保について

(1)各分野の就業データとして総数、各分野の数、男女比、正規・非正規比、入職・離職者、平均賃金などを把握しているか。

(2)積極的な人材確保対策をどう考えているか。

(すがわら)

障害者福祉、子ども福祉、高齢者福祉とある中で、高齢者等の介護従事者の労働力確保は、需要は伸びていくのになり手が少なくなると懸念される。厚労省は2004年に約100万人だった介護従事者が2014年には140~160万人必要になると見込んでいる。また昨年「福祉人材確保指針の見直し」を行ない、今年「福祉人材確保法」の制定を行なったが、その実効性は見えてこない現状だ。本市の状況に問題はあのか、ないのか。あるとしたら何が問題で、どう対処するのか。どう切り抜けるのかも考えて行かなくてはならない。そのためにも正確なデータを掴んだ上で、最善の対策を考えて、政策的に判断していく必要がある。賃金などの処遇、そして職員の質向上についても、人材の確保という観点からどう考えるか。

(福祉部長の答弁)

福祉人材の確保については重要な問題と認識している。賃金をはじめとした職員の待遇全般にかかわる問題でもあり、福祉分野で働く人ばかりの問題にとどまらない事も考えられる。今後は、国・県の動向を見て対応していきたい。

ひと言 10年後、団塊の世代が70代に突入する。全国調査で、介護従事者の離職率は20%を超えているそうだ(1年間で5人に1人が辞める)。市は、まず市内の状況を正確に把握し、サービス水準が低下しないように務めるべきです。

議会報告 第4回定例会(9月1日～25日)

市長提出の議案 30 件(決算認定 15・報告 7・条例 3・一般 1・補正予算 4)と議員提出議案 3 件が上程され、各委員会(総務・健康福祉・文教建設・市民生活)において慎重なる審議の結果市長提出議案・議員提出議案ともに原案通り可決されました。

可決された主な議案(決算認定を除く)

(市長提出議案として)

報告6号 財政健全化法が定める指標の報告

平成19年度に公布された財政健全化法の定める健全化判断比率の4指標(実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率)に関する報告です。

報告7・8号 財政健全化法が定める指標の報告

戸田市では該当する公共下水道事業特別会計(7号)、水道事業会計(8号)の資金不足比率に関する報告です。

第65号 一般会計補正予算

補正前の額	39,166,741,000 円
補正額	181,270,000 円
補正後の額	39,348,011,000 円

(補正予算の主な事業)

温暖化対策支援補助金 10,410,000 円

環境配慮型システムの設置補助金の申し込みが当初より多数であることに伴う増額補正です。

パトロールステーション運營業務委託料 2,065,000 円

犯罪が多い上戸田・新曽地区に警備員を増強します。

(議員提出議案として)

第12号 学校耐震化に関する意見書

全ての公立学校が耐震化を実施するための措置等を行なうよう政府に求める意見書です。

第13号 太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書

環境に配慮した太陽光発電システムを普及促進するために企業や消費者に対する支援策を求める意見書です。

第14号 妊婦健診に対する財政措置を求める意見書

妊婦健診の政府による公費負担を14回程度受診できるように財政支援を行なう事を求める意見書です。

多数決により可決した議案

認定1号 平成19年度戸田市一般会計決算認定

認定2号 平成19年度戸田市国民健康保険特別会計決算認定

認定13号 平成19年度戸田市介護保険特別会計決算認定

すべて共産党会派(4名)が反対。(認定1・2号は討論あり)

平成19年度の決算概要

市全体(水道事業を除く)

収入済額	総額(円)
歳入	69,151,780,164
歳出	66,428,177,590
実質収支	2,529,157,825

実質収支とは、翌年度への繰越を差し引いた額のこと

事業別

収入済額	歳入(円)	歳出(円)
一般会計	41,570,332,207	39,895,550,344
特別会計		
国民健康保険	10,969,716,282	10,527,573,869
介護保険	3,313,914,632	3,209,593,161
老人保険	4,479,564,950	4,403,457,037
公共下水道事業	3,765,092,865	3,684,709,491
医療保険センター	583,468,118	520,370,819
介護老人保険施設等事業	666,957,663	625,803,321
交通災害共済事業	17,806,643	17,680,214
火災共済事業	6,004,939	3,956,160
学童等災害共済事業	2,050,079	1,169,089
中退共事業()	326,296,390	325,438,817
海外留学奨学事業	2,381,769	961,480
新曽第一土地区画整理事業	3,284,335,626	3,054,604,788
新曽第二土地区画整理事業	163,858,010	157,309,000

中退共とは、中小企業従業員退職金等福祉共済事業のこと

水道事業(企業会計を採用)

	総額(円)
事業収益	2,494,019,058
事業費用	2,164,959,046
純利益	329,060,012

給水戸数53648戸(対前年比+1254戸)

財政健全化法の定める健全化判断比率(報告6・7・8)

	戸田市(%)	基準値(%)
実質赤字比率	(該当なし)	11.9
連結実質赤字比率	(該当なし)	16.9
実質公債費比率	4.0	25.0
将来負担比率	83.1	350.0

資金不足比率

	戸田市(%)	基準値(%)
公共下水道特別会計	(該当なし)	20.0
水道事業会計	(該当なし)	20.0

該当なしは、マイナス値を示しており、健全な数値の域。

すがわらの4年間を振り返る

政治家として大切なことは、選挙に勝つことだけを考えるのではなく、選挙で示した公約やマニフェストを遂行することはもちろん、約束通りにできたのかどうかを説明する責任を果たすことであると思います。もし出来なかった事があっても、逃げずに、出来なかった理由も含めて正直に示していくことが、「お願いから約束へ」ブレイクスルーする鍵なのです。

私は、これまでの活動を振り返る意味で、4年前に私が掲げた政策を自己採点させていただきました。皆様からの忌憚のない評価をいただきたいと思います。

自己評価の5段階基準

 S	具体的で有効な成果がある。	 C	取り組みが甘い。効果が少ない。
 A	効果的な成果がある。	 D	取り組みなかった。効果もない。
 B	取り組み、一定の効果が認められる。		

あなたの評価は？……………

公約の自己採点表

分野	政策・具体策	活動内容・実績	自己評価
スポーツ	お年寄りや障がいがある方がスポーツを楽しめる環境づくり。	一般質問で取り上げ、お蔵入りになっていた「スポーツ基本計画」の策定を要望し、実行を確約しました。	S
	健康運動を広め、高齢者の自立とQOL向上をはかる。	社会福祉協議会のすすめているリズム体操やダンベル体操が普及しつつある。会派として支援策を要望している。しかし取り組みは甘かった。	C
	総合型地域スポーツクラブをつくる。	一般質問で取り上げました。少し時間がかかりましたが、平成20年度内に設立予定です。	A
教育	豊かな人間性を育む教育を推進。	一般質問で市内のいじめの実態を明らかにして、いじめ相談窓口を設置した。心の教育として、サイコ・エデュケーションの導入を提言しました。	A
	子どもが自ら選択し、努力できる教育環境をつくる。	一般質問で「子どもの読書活動推進計画」を提言し、平成20年度中に計画策定を確約。平成23年までに市内全学校が学校図書標準充足率100%達成を確約しました。	S
	子どもの基礎体力向上策の推進	一般質問で子どもの体力向上策を提言。チャレンジてつぼう・とびばこ教室は平成17年度から毎年開催。延べ参加小学生は900人を超えました。	S
	スポーツ団体や少年団の活性化。	会派の要望としてスポーツ施設の充実について取り上げています。	C
	文化・芸術活動支援を積極的に進める。	一般質問でとりあげました。文化振興基本条例や文化振興基本計画を提言。市民ミュージカル劇団の継続的支援を確約しました。	S
福祉	子育ての相談窓口や保育施策の充実、強化。	一般質問で病児・病後児保育の設置と対応人数を提言。県内唯一、市内3カ所の病児保育施設が今年度中に整備。提案にほぼ近い形で実現しました。質問内容が新聞にも掲載されました。	S
	第三者評価や市民の意見を福祉の現場に活かす施策。	一般質問で福祉サービス従事者の把握と人材確保策を取り上げました。具体的な成果は少ない。時間がかかると思われます。	B
	福祉NPOやボランティア団体の活動をサポート。	会派の要望事項で、市民活動支援センターの設置があります。委員会でも取り上げました。しかし効果としては乏しいと言わざるをえません。	C
環境	花や緑、水辺のある、おしゃれな街並みをつくります。	会派の要望にはあるが、現在のところ、自分では取り組んでいない。しかし12月議会で取り上げる予定です。	D
	ゴミの減量化策などの環境対策を推進。	一番有効な手段であるゴミの有料化も含めて、減量化対策に積極的に委員会で取り上げました。	B
	アイドリングストップの徹底など、地球温暖化対策を推進。	一般質問で実効性ある環境保全率先実行計画の推進を提言。市民にわかりやすく、親しみやすい環境報告書が作成されました。	A
行政	ITを駆使した行政サービスの向上。	一般質問ではクレジットカードによる在宅決済を提案。現在導入検討中。	A
	経営感覚の行財政運営と、効率化や合理化策。	一般質問で提言した公共施設等整備基金条例を提案。提案したままの基金条例が新設されて、初年度から10億円が基金に積み込まれました。また何度も成果志向の行政改革を一般質問や委員会でうたっています。	S
安全	防犯力の充実策を行ない、犯罪を減少。	一般質問で取り上げました。関東で2例目となる「青色防犯灯」設置を実現。自転車盗の減少に寄与しました。	S
	子ども、お年寄りが安心して暮らせるまちづくり。	住工混在する学校付近の違法駐車重点指導について一般質問で取り上げました。美女木八幡歩道橋の安全対策を求める請願も提出。	A

総合評価

行財政運営改革に対する有効な提言が出来たと自負します。環境政策についての具体的な成果は少なかった。成果に時間のかかる教育では計画策定の確約や具体的な取り組みがありました。福祉は保育の成果があったが、取り組みが少なかった。安全、スポーツ共に具体的な成果もあり、総合評価をAとしました。



このほかにも、さくら川のフェンス更新、集合住宅の駐輪不足対策、違法駐車対策、財源確保の諸政策(市税収納率強化、使用料・手数料の見直し、補助金の見直し、広告料収入向上策)、市のコンプライアンス強化(公益通報者保護条例。未実施)、政策法務の充実(要綱の公開とできるものから条例化。未実施)、さいたま市境の管理用道路の安全対策(これから)等々…と、示した分野以外も多数提言しています。